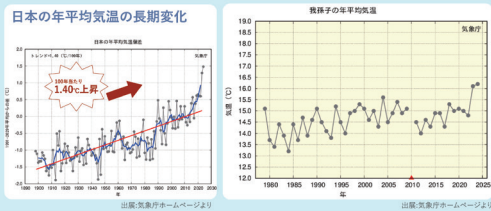


自然エネルギーを活用した 快適なまちづくり

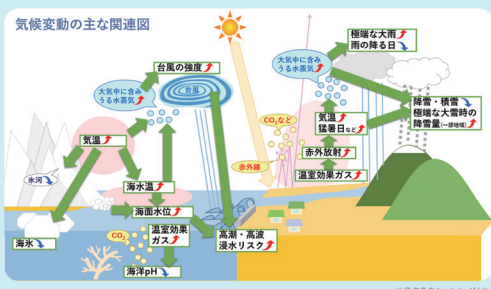
自然エネルギーをすすめる 我孫子の会

1 地球温暖化が進んでいます。

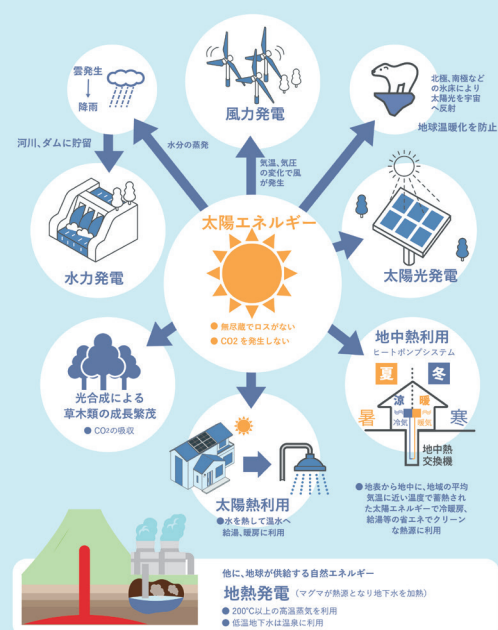


地球規模で大気圏内に温室効果ガス（CO₂ など）の急増が主な原因となっています。

この影響により、気温の更なる上昇・台風の大化型・降雨量の増大・海水温の上昇・氷河や海水が溶けて海面上昇などの気候変動が生じています。



2 太陽が供給する 自然エネルギーのいろいろ



3 我孫子地域で脱炭素化への 協働の取組み

私たちは

我孫子市が進める「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえて、市民と行政が協働して 地域固有にある自然エネルギーの地産地消と脱炭素社会のまちづくりをすすめます。

- 地球温暖化防止に向けて、化石エネルギーによる二酸化炭素排出量の抑制に寄与。
- 我孫子市の将来都市像「未来につなぐ心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」の実現に寄与。
- 我孫子市の自然を守り、文化・生活の向上、産業の発展、エネルギーの地産地消に寄与。
- 未来の子ども達のために、安心・安全で効率的なエネルギー社会の構築を目指す。

いろいろな活動

- 講演会を開催（大学人や専門家が講師）
- 見学会を開催（高野山新田の太陽光発電施設、農地内のソーラーシェアリング施設 他、農家の営農のサポートなど）
- 大学学園祭に参加（中央学院大学にて）
- 東葛エリアソーラーカンファレンス大会支援（川村学園女子大学にて）
- 中学・高校のサークル、一般市民の団体が数多く参加
- ホームページを公開し、さまざまな活動の取組みの様子を紹介中
- 会報（ニュースレター）を発行し、活動の様子や「会員の声」の記事で意見交換および会員相互の 親睦を深めている。
- 地元の市民団体や他市の環境団体とも経験交流を行い、親睦を深めています。

行政との協働

我孫子市の地球温暖化対策を推進する担当の手賀沼課が当会の事務局となり、私たち市民と協働して、省エネと再エネによる脱炭素化と循環型の社会を進めます。

自然エネルギーをすすめる我孫子の会
ホームページQRコード



4 市民発電事業の取り組み紹介

Point
我孫子市全体の
年間消費エネルギー費用は **約225億円**
（家庭、業種、産業部門のすべての光熱費で、大部分が市外事業者に支払い）

- 自然エネルギーは市民の貴重な財産です。
- エネルギーの地産地消をすすめます。
- 市民参加型で「市民発電所」の設置をすすめています。
（市民の出資金や寄付金で民間施設屋根にPV 発電施設設置）

第1号施設 2021年 市内湖北台の障害支援施設屋根に設置
第2号施設 2024年 市内都部新田の障害支援施設（けやき社会センター）に設置
第3号施設 2025年 市内都部の「一粒の麦」福祉施設屋根に設置
第4号施設 2025年 市内岡元戸の「ふれんず」障害者支援施設屋根に設置

- 発電した電気は施設内で自家消費を優先し、余剰な電気は外部に売電しています。
※発電事業は（一般社団法人）あびこ自然エネルギーが運営管理

（一社）ではPV パネルを市民が購入し、（一社）の発電施設に貸付して、その レンタル料金が毎年還付される、「**パネルオーナー制度**」を実施中です。

市民発電所への取組みに、ご検討ください。詳細は（一社）担当まで

PV パネルは最新の技術開発により、より安価で軽量化が進んでいます。
またフレキシブルで壁面、曲面にも設置可能な新技術の製品（フィルム型太陽電池）なども開発されています。



自然エネルギーをすすめる我孫子の会

会 長 佐々木 正元
電 話 04-7185-1484
事務局 我孫子市役所
手賀沼課
住 所 我孫子市
高野山新田193
水の館3階

市民と我孫子市が協働して、地域固有にある自然エネルギーを有効に活用して「脱炭素社会」を進めます。また、省エネと創エネによる街づくりを目指して、2015年11月から活動しています。2017年6月には、当会の有志によって発電事業を行う「一般社団法人 あびこ自然エネルギー」を設立しました。2021年8月には、市民の志金（寄付・出資）で太陽光PV設備の市民発電所第1号を設置して発電を開始し、2025年末には第4号まで稼働しています。今後は我孫子市の「ゼロカーボンシティ宣言」（2020年7月）を踏まえ、自家消費型の発電設備を基本に、自然エネルギーの普及促進と脱炭素化を目指します。